

豪雨災害・激甚災害に指定 ・河川激特事業を採択

～国・県への要望活動実る～



川内川河川事務所による激特事業の住民説明会
(虎居地区)

議会は、豪雨災害直後から活動を開始し、被災者が1日でも早く安心して生活できるよう町執行部と、国土交通省をはじめ関係機関に激甚災害の指定や、河川激甚災害対策特別緊急事業（河川激特事業）の採択等の要望活動を積極的に行っていました。

害と比較して、国庫補助が上乘せされ、町の財政負担が軽減されます。また、10月4日には河川激特事業として採択され、5年間で湾曲部大規模シフトカット、河道掘削、築堤など整備内容が示され、住民説明会で住民からの要望など意見交換がありました。

どうなった あなたの

陳情

採択

非核・平和都市宣言について

◎陳情者

・外山一正

趣旨 広島、長崎に原子爆弾が投下されてから61年を経過し、私たち日本国民は、核兵器を廃絶し、世界の恒久平和の実現を願っております。

り返さないよう核兵器の廃絶を全世界の人々に伝え続けて行かなければなりません。さつま町においても早期に「非核・平和都市宣言」をされるようお願いします。

広島、長崎の惨禍を繰

不採択

全天候型ゲートボール場建設について

◎陳情者

・宮之城地区ゲートボール协会会长 内山文高
・薩摩地区ゲートボール协会会长 島崎秋男
・鶴田地区ゲートボール协会会长 若松義明

趣旨 高齢者の健康づくり、仲間づくりを目指し、競技大会等を実施して

(不採択の理由)

ますが、雨天時や酷暑の時期の屋外での開催に非常に苦慮しています。全天候型ゲートボール場の建設をお願いいたします。本町の財政運営は極めて深刻な事態であり、町民の理解を求めながら財政基盤の確立に向けさらに努力が必要であることから、実現の可能性が非常に難しい現状であるとの判断で不採択と決定しました。

継続

泊野地区の簡易水道布設を
求める陳情書